

デジタル田園都市国家構想交付金

令和6年度末評価検証結果

◆評価の方法

評価の方法については、KPI 達成度による内部評価を検証委員に示し、KPI 達成への有効度を判定する事業評価と今後の方針についての評価を行った。

1. 達成度評価

総合戦略に示した重点評価指標（KPI）の達成状況について、評価時点目標の達成度に応じた評価を実施した。

達成度評価については下記達成率による評価とした。

S	目標以上を達成（達成率が100%以上）
A	概ね目標を達成（達成率が80%以上100%未満）
B	目標達成に向け順調に推移（達成率が50%以上80%未満）
C	やや目標達成困難（30%以上50%未満）
D	目標達成困難（30%未満）

2. 内部評価

達成率による評価並びに対象事業年度に実施した事業を踏まえ、取り組みに対する課題や今後の取組方針等の内部評価を実施。

3. 外部評価

内部評価を踏まえ、総合戦略検証委員による外部評価を実施。

◆半世紀を経て完成する歴史の道八十里越街道と日本一の地方創生路線只見線が繋ぐ新たな広域観光×（エクス）圏創生プロジェクト

1. 事業概要

事業名	半世紀を経て完成する歴史の道八十里越街道と日本一の地方創生路線只見線が繋ぐ新たな広域観光×（エクス）圏創生プロジェクト				
単独広域	広域連携	事業タイプ・類型	地方創生タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
事業期間	R6-R8年度	事業費（円）	4,412,320	うち交付金充当額	2,206,160

2. 事業実績（取り組み内容）

- ・八十里越街道 広域観光地域づくり 観光セミナー、商品開発
 - … 国道289号（八十里越）の開通に向けて三条市・南会津町・只見町による3市町の広域観光連携を強化するとともに、八十里越エリアの地域としての魅力を高めるため観光セミナーを開催。商品開発支援事業として観光商品を開発する地元事業者を支援。
- ・只見線ポスターフォトコンテスト
 - … 只見線・只見町の認知度・観光交流人口増に向けポスターフォトコンテストを実施。応募総数167作品。優秀作品4点をポスター制作し、関係各所にてPR。認知度向上を図った。
- ・只見線ビュースポット整備事業
 - … 只見線津川橋梁絶景ポイントを整備。アクセス可能な登頂ルートの計画及び往来に必要最低限の整備を実施。

3. 重要業績評価指標（KPI）達成状況評価

No.	重点評価指標（KPI）	単位	評価指標の目標値及び達成状況						
			現状値（R4）	増加分実績（下段：時点目標値）			目標値（累計）	達成率（単年）	評価
				R6	R7	R8			
1	地域における観光消費額（増加額）	千円	3,652,815	45,902 (165,890)	(165,890)	(165,890)	45,902 (497,670)	27.7%	D
2	只見線乗車人数（区間平均通過人数）	人	186	38 (24)	(20)	(40)	38 (84)	158.3%	S
3	移住者（UIターン）の人数	人	42	24 (8)	(10)	(10)	24 (28)	300.0%	S
4	八十里越街道関連観光コンテンツ	件	4	1 (2)	(2)	(2)	1 (6)	50.0%	B

※No.1、No.4は広域連携市町村全体目標

4. 内部評価

- ・只見線乗車人数・移住者の人数は増えているものの、地域における観光消費額が未達となっている。
- ・八十里越街道関連観光コンテンツを含む、地域の素材を磨く取組が必要と考える。
- ・令和7年度においては、只見駅で集客するべく本事業にて只見駅での券売実施などによりKPI向上を図りたい。

5. 外部評価

- 八十里越街道の通年開通が与える影響は、大きいものである事に期待します。
- 只見線について週末や祝日の1両編成を最低でも2両となるよう要望する必要がある。只見から小出まで座席に座れないのでは乗車減につながるのではないのでしょうか。八十里については三市町で観光連携されていますが、只見町として町内に留まってもらう施設等が必要ではないのでしょうか。
- 国道 289 号の開通に向けて国道沿線や只見線の利活用に向けた取り組みを行う事は非常に良いと思いますが、只見駅で降りてもらうことや只見町でお金を使ってもらうためのコンテンツ醸成をセットで行う事が大切だと思います。
- 只見線叶津川橋梁絶景ポイント整備とあるが、駐車場がないため案内が難しい。国道 289 号については、三条、弥彦への観光ルート及び三条、弥彦からの只見宿泊ルートの観光旅行商品を企画したい。また、只見町の旅館民宿は、観光客から、満室で泊まれないという話をよく聞かすが、空き室があるにもかかわらずネット上、満室と表示している宿が多い。観光消費額を増加させるためには、この問題と向き合いたいと思うが難しい。
- 成果や効果を上げるための事業内容に苦労が見える。只見線の知名度は、こども会議等で知ること多くなっている。只見線も 289 号開通も相乗効果が見える取組を期待している。
- 八十里越街道広域観光地域づくり等々に関しては特に「商品開発」では地元事業者の支援策として、販路拡大等への支援を積極的に行っていただきたい。せっかく良い商品を作っても販路がなければ事業として衰退してしまう恐れがあります。
- 只見線ポスターフォトコンテストは単年度事業であったならば、継続的な開催を望みます。只見町・只見線の知名度UPに繋がるものと考えます。
- 先日(6月29日)只見町区長協議会で三条市区長会との交流会を実施してまいりました。八十里越え開通前になるべく多く三条市側との交流を深め、開通の折にはスムーズな人の流れになったらと思います。その様な機会の場の設定をお願いします。

◆高校を核とした新たな人づくり・人の流れづくりプロジェクト

1. 事業概要

事業名	高校を核とした新たな人づくり・人の流れづくりプロジェクト				
単独広域	広域連携	事業タイプ・類型	先駆型	事業分野	地方への人の流れ
事業期間	R2-R6年度	事業費（千円）	11,286,905	うち交付金充当額	4,266,000

2. 事業実績（取り組み内容）

- ・中学生親子向けのオンライン合同説明会「地域みらい留学」で山村教育留学生の募集活動を実施（参画料：880,000円）
- ・小中学校でキャリア教育を推進し高校へと連結させるため、大学生講師を採用（小中学校コーディネーター等件費：652,300円）
- ・奥会津学習センターの運営体制強化のためハウスマスター等のスタッフを雇用（ハウスマスター等件費：9,754,605円）

3. 重要業績評価指標（KPI）達成状況評価

No.	重点評価指標（KPI）	単位	評価指標の目標値及び達成状況								
			現状値 (R1)	増加分実績（下段：時点目標値）					目標値 (累計)	達成率 (最終)	評価
				R2	R3	R4	R5	R6			
1	「高校を核とした関係人口」の数	人	2,360	1,879 (200)	-291 (616)	1,246 (455)	1,087 (635)	819 (430)	4,740 (2,336)	190.5%	S
2	「都市部での地方高校全国説明会」参加者数	人	2,093	1,363 (200)	568 (250)	344 (356)	-22 (430)	567 (430)	2,820 (1,666)	131.9%	S
3	「地域課題解決学習全国大会」エントリープロジェクト件数	件数	292	147 (30)	334 (154)	229 (197)	739 (120)	264 (62)	1,713 (563)	425.8%	S
4	「共学共創ネットワーク」参加自治体・学校数	団体	55	13 (5)	10 (6)	22 (8)	19 (9)	10 (9)	74 (37)	111.1%	S

※No.1～No.4は広域連携市町村全体目標

4. 内部評価

<事業の評価>

- ・令和7年度入学予定の山村教育留学生認定者数は9名。在學生は、校内生徒会や部活動で活躍し、総合的な探求の時間には地域課題解決プロジェクトに取り組んだ。
- ・福島大学の学生を中心にサマースクール・ウィンタースクール講師を招聘することで、関係人口の増加（のべ10名）と小中学生のキャリア教育を実施することができた。
- ・寮を支える職員の質が向上し、寮内での季節のイベントや留学生の地域交流（祭礼や雪まつり出店への参加）など充実した体験を行うことができた。

<課題と今後の取り組み>

- ・山村教育留制度を採用する学校が増え、生徒の確保が困難となってきたため、近隣町村や県内、交流都市を中心にメリハリをつけた募集活動を行うこととする。
- ・大学生の短期講師の確保が難しい時期もあるため、早めにスケジュールを伝えるほか、長期休暇で帰省する大学生にも声掛けを行っていくこととする。
- ・寮の運営体制に欠員があり、慢性的な職員不足となっているため、引き続き募集を行っていく。

5. 外部評価

- 現地中学との連携、山村留学制度に期待。
- 高校の存続については、町民の負担を少なく安心して通学できる高校であってほしい。山村教育留学生の入寮者数が高校存続の重点課題とは思いますが、町民以上の優遇は必要ないのではと思います。
- 就労等により只見に残れる選択肢の提供などできると良いのではないかと思います。
- 高校生などを取り入れた関係人口づくりは大切。農業イベントでも高校生や小中学生にも声をかけているので今後も大事にして行ってほしい。
- 今後も同様に進めていただきたい内容でした。
- 「只見高校」を一言で言うとどの様な高校かについて、誰もが答えられる特徴的な体験や特色を打ち出せる取り組みが必要だと感じた。
- 只見高校生の探求学習の取組、留学生制度含め、主体性を養う取組は素晴らしいと感じる。人口減少のネガティブな視点より、高校生が只見で学ぶことの有用感や達成感にも繋がる取り組みを継続し、次世代につながる人材育成に繋げてほしい。
- 今後も只見高校との連携強化し特色のあるカリキュラムの構築を望みます。
- 只見町内の小学校が統合に向けて動いています。この機会に、小・中・高校が一貫校として生まれ変わるのはいかがでしょうか。国内にはそのような公立の学校もあるでしょうから、ぜひ研修に行ってみたいです。